

# 安全データシート

整理番号 : kyodohiryo-80

作成日 : 2017/3/7

製品名 : くみあい有機入り配合S834特号

## 1. 製品および会社情報

製品名 : くみあい有機入り配合S834特号  
 会社名 : 全国農業協同組合連合会  
 担当部署 : 肥料農薬部  
 住所 : 〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JAL #33F  
 電話番号 : 03-6271-8285  
 Fax番号 : 03-5218-2536  
 E-mail : zz\_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp  
 緊急連絡先 : 03-6271-8285  
 推奨用途及び使用上の制限 : 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないでください。

## 2. 危険有害性の要約

【本製品の構成成分（クロム及びその化合物（蒸製皮革粉由来））に関するもの】

GHS分類  
 人健康有害性 : 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2B  
 呼吸器感作性 区分1  
 皮膚感作性 区分1  
 生殖細胞変異原性 区分2  
 特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露) 区分2 (全身毒性)  
 区分3 (気道刺激性)

注) 記載がない危険有害性は[分類対象外]、[区分外]または[分類できない]に該当

## GHSラベル要素

絵表示またはシンボル :



注意喚起語 : 危険  
 危険有害性情報 : 眼刺激  
 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ  
 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ  
 遺伝性疾患のおそれの疑い  
 全身毒性の障害のおそれ  
 呼吸器への刺激のおそれ

注意書き  
 安全対策

: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。  
 換気が十分でない場合には呼吸用保護具を着用すること。  
 保護手袋を着用すること。  
 粉じんを吸入しないこと。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。  
 汚染された作業衣を作業場から出さないこと。

緊急措置

: 吸入した場合、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。また、コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。  
 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。  
 汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。  
 ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。  
 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。  
 呼吸に関する症状が出た場合には、医師の診断、手当てを受けること。  
 皮膚刺激又は発疹がおきた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

保管  
 廃棄

: 施錠して保管すること。  
 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
 化学名または一般名 : 肥料  
 危険有害成分 : 塩基性硫酸クロム

成分	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No
塩基性硫酸クロム	約0.2%	Cr(OH)(SO4)	(1)-287	12336-95-7

## 4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸し易い姿勢で休息させること。  
 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。  
 皮膚に付着した場合 : 皮膚を多量の水と石鹸またはシャワーで速やかに洗浄すること。  
 皮膚の刺激が持続する時は、医師の診断、手当てを受けること。  
 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。  
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗うこと。  
 眼の刺激が持続する時は、医師の診断、手当てを受けること。  
 飲み込んだ場合 : 速やかに口をすすぎ、医師の診断を受けること。  
 予想される急性症状

# 安全データシート

製品名： くみあい有機入り配合S834特号

作成日：2017/3/7

## および遅発性症状

- 吸入した場合：気分が悪くなることがある。
- 皮膚に付着した場合：炎症を起こす可能性がある。
- 眼に入った場合：炎症を起こす可能性がある。
- 飲み込んだ場合：下痢、嘔吐する可能性がある。
- 応急措置をする者の保護：状況に応じて適切な保護具を着用する。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤：周辺の火災状況に適する消化剤を使用する。
- 特有の危険有害性：火災によって有害なガスや粉塵を発生するおそれがある。
- 特有の消火方法：火災区域に適度な距離から大量の水を散水をする。  
危険でなければ、火災区域から容器を移動する。  
移動不可能な場合は、容器を破損しないように注水し、冷却する。  
消火が不可能な場合には、その場所から避難し燃焼させておく。  
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
- 応急措置をする者の保護：空気呼吸器を含め完全な防護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置：直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立入りを禁止する。  
作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止および保護装置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガス、粉塵の吸入を避ける。  
密閉された場所に立ち入る前に換気する。  
全ての着火源を取り除く。
- 環境に対する注意事項：河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
- 回収・中和：漏洩物を乾燥した空容器に回収し、安全な場所に移す。
- 二次災害の防止策：漏洩物を完全除去後、区域の換気と汚染場所を清掃する。  
可燃物（木、紙、油等）は漏洩物から隔離する。  
容器に水を入れない。

## 7. 取り扱いおよび保管上の注意

- 取り扱い
  - 技術的対策：「8. ばく露防止および保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
  - 局所排気、全体排気：「8. ばく露防止および保護措置」に記載の局所排気、全体排気を行う。
  - 安全取り扱い注意事項：周辺での高温物の使用を禁止する。  
可燃性物質から離して使用すること。  
接触、吸入または飲み込まないこと。  
ガス、粉塵を吸入しないこと。  
眼に入れてはならない。  
取り扱い後は、良く手を洗うこと。  
屋外または換気の良い区域でのみ使用すること。  
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 接触回避：長時間または反復のばく露を避ける。  
「10. 安定性および反応性」を参照。
- 保管
  - 技術的対策：保管場所には取り扱う為に必要な採光、照明および換気の設備を設ける。
  - 保管条件：吸湿性があるので、容器を密閉して冷乾燥場所に保管すること。  
可燃物および指定された禁忌物質から離して保管すること。  
熱、燃焼性物質から離して保管すること。  
幼児等の手の届く所に保管しないこと。
- 混触危険物質：「10. 安定性および反応性」を参照。
- 容器包装材料：透湿性の容器は避ける。

## 8. ばく露防止および保護措置

- 管理濃度：設定されていない。
- 許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）
  - 日本産衛学会：設定されていない。
  - ACGIH：設定されていない。
- 設備対策：この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には、洗眼器と安全シャワーを設置すること。  
適切な換気装置を設置すること。

## 保護具

# 安全データシート

製品名： くみあい有機入り配合S834特号

作成日：2017/3/7

呼吸器の保護具	: 適切な呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	: 適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	: 適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	: 適切な顔面用保護具、保護衣を着用すること。
衛生対策	: 取り扱い後は、良く手を洗うこと。

## 【本製品の構成成分（クロム及びその化合物（蒸製皮革粉由来））に関するもの】

管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）	
日本産衛学会(2005年版)	: 0.5mg/m <sup>3</sup> （金属クロム）
ACGIH（2005年版）	: TLV-TWA 0.5mg/m <sup>3</sup> （Metal）

## 9. 物理的および化学的性質

形状、色等	: 粉と粒の混合物
嵩比重	: 0.8~1.0

## 【本製品の構成成分（クロム及びその化合物（蒸製皮革粉由来））に関するもの】

物理的状态、形状、色等	: 灰色の粉末
臭い	: データなし
pH	: データなし
融点、凝固点	: 1900°C（融点）
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 2642°C（沸点）
引火点	: 不燃性
爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: 1Pa（1383°C）
蒸気密度（空気=1）	: データなし
比重（密度）	: 7.14
溶解度	: 不溶（水）、情報なし（有機溶剤）
オクタノール/水分配係数	: log Pow = 0.23（推定値）
自然発火温度	: 400°C（Cloud）、580°C（Layer）
分解温度	: データなし
臭いのしきい（閾）値	: データなし
蒸発速度（酸化ブチル=1）	: データなし
燃焼性（固体、ガス）	: データなし
粘度	: データなし

## 10. 安定性および反応性

安定性	: 通常の条件下では安定である。
危険有害反応可能性	: 加熱や燃焼により分解し、有毒なガスや粉塵を発生する。
避けるべき条件	: 加熱、燃焼。
混触危険物質	: 可燃性物質、還元性物質、強酸化剤、強塩基
危険有害性のある分解生成物	: アンモニア

## 【本製品の構成成分（クロム及びその化合物（蒸製皮革粉由来））に関するもの】

安定性	: 通常の取り扱い条件においては安定
危険有害反応可能性	: 過酸化水素などの強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。 希塩酸や希硫酸と反応する。 アルカリやアルカリ炭酸塩とは混触危険である。
避けるべき条件	: 粉末や顆粒状で空気と混合すると、粉じん爆発の可能性がある。
混触危険物質	: 強酸化剤、希塩酸、希硫酸、アルカリ、アルカリ炭酸塩
危険有害性のある分解生成物	: 燃焼の際は、刺激性若しくは有毒なヒュームやガスを放出することがある。

## 11. 有害性情報

### 【本製品の構成成分（クロム及びその化合物（蒸製皮革粉由来））に関するもの】

急性毒性	
経口	: データなし
経皮	: データなし
吸入（粉塵）	: データなし
皮膚腐食性・刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	: 粉末は(mechanical) irritationを起こす可能性があるとの記載に基づき区分2Bに分類した。 眼刺激（区分2B）
呼吸器感受性	: 日本職業・環境アレルギー学会のリストに記載されていることに基づき区分1に分類した。なお、日本産業衛生学会でも「人間に対しておそらく感受性があると考えられる物質」に分類されている
皮膚感受性	: 金属クロム、クロム合金、クロムメッキはこの形態では感受性は認められないが、湿気により溶解してクロムイオンのばく露を受けて皮膚感受性を示す可能性があるという記述に基づき区分1に分類した。 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ（区分1） アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ（区分1）
生殖細胞変異原性	: in vivo の体細胞変異原性（ラットの末梢血リンパ球の染色体異常）試験で陽性結果に基づき区分2に分類した。遺伝性疾患のおそれの疑い（区分2）
発がん性	: IARCでグループ3、ACGIHでA4に分類されていることに基づき区分外に分類した。
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器・全身毒性	: 金属ヒューム熱を生じる可能性があるとの記載に基づき区分2（全身毒性）に

# 安全データシート

製品名： くみあい有機入り配合S834特号

作成日：2017/3/7

(単回ばく露) 分類した。ヒトで気道刺激性が報告されていることに基づき区分3 (気道刺激性) に分類した。  
全身毒性の障害のおそれ (区分2)  
呼吸器への刺激のおそれ (区分3)  
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露) : データなし  
吸引力呼吸器有害性 : データなし

## 12. 環境影響情報

【本製品の構成成分 (クロム及びその化合物 (蒸製皮革粉由来)) に関するもの】

水生環境急性有害性 : データなし  
水生環境慢性有害性 : データなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 河川・海洋・下水・排水管等に流したり、投棄したりしないこと。  
廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。  
高温に加熱すると熱分解し、アンモニア等を発生するので、燃焼処理は行わないこと。  
汚染容器および包装 : 空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去し、廃棄物およびリサイクルに関する関連法規並びに地方自治体の基準等に従って適切に行う。

## 14. 輸送上の注意

国際規則  
海上規制情報 : 該当しない  
航空規制情報 : 該当しない  
国内規則  
陸上規制情報 : 該当しない  
海上規制情報 : 該当しない  
航空規制情報 : 該当しない  
特別の安全対策 : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
雨水等による水濡れに注意する。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法 : 該当物質有り  
【クロム及びその化合物 (蒸製皮革粉由来)】  
施行令第18条の2 [名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物]  
別表第9 政令番号142 クロム及びその化合物  
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) : 該当物質有り  
【クロム及びその化合物 (蒸製皮革粉由来)】  
第1種指定化学物質 政令番号1-87 クロム及び三価クロム化合物  
毒物及び劇物取締法 : 該当しない  
消防法 : 該当しない

## 16. その他の情報

記載内容の取り扱い

- 1) 記載内容は現時点で入手できる資料や情報に基づいて作成しており、新しい知見により改訂することがあります。
- 2) 注意事項等については通常の取り扱いを対象としており、特別な取り扱いをする場合には、用途、用法に適した安全、衛生、環境対策を実施して下さい。
- 3) 記載内容は本製品の取り扱いに関する情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

参考資料

- |                       |        |            |        |
|-----------------------|--------|------------|--------|
| ①GHS関係各省による分類結果       | 独立行政法人 | 製品評価技術基盤機構 | ホームページ |
| ②化学物質総合情報提供システム       | 独立行政法人 | 製品評価技術基盤機構 | ホームページ |
| ③GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報 | 厚生労働省  | 職場の安全サイト   | ホームページ |

本SDSは、下記協同肥料株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください。

会社名	: 協同肥料株式会社
住所	: 愛知県名古屋市港区いろは町1丁目23番地
担当部署	: 肥料登録管理室
電話番号	: 052-654-1275
FAX番号	: 052-653-3227